



こんにちは

日本共産党市会議員

<議会報告>

玉本なるみ

です

連絡先：日本共産党北地区委員会

☎075 - 432 - 3261

2017年7月①号

<委員会報告> LGBTの自殺対策について質疑しました

「性的マイノリティーの悩みを抱え、自殺を考えたり、実際自殺未遂の経験がある人が多くあるという」研究者の報告を紹介しながら、見逃せない課題であるのに『京都市自殺対策推進計画』には、LGBTの文言さえないことを指摘しました。そして、専門の相談を設けたり、当事者や支援者の方々にご意見を聞き、自殺対策の計画にLGBT対策を盛り込むようにに迫りました。

答弁では、「LGBTということではないが、全市民を対象に相談事業は実施している」さらに、実際に、こころの健康増進センターでの相談内容でも、性的マイノリティーの相談は数件しかないと答弁しました。私は相談の窓口を具体的に開いていないことが問題で、相談がないこと自体が問題であることを指摘しました。

人権問題ですが、自分がゲイ（恋愛対象が同性である男性）や性同一障害であることなどをカミングアウト（告白すること）できる方は少数であり、理解がない状況でカミングアウトすることは、いじめの対象になったり、傷つくこともあります。しかし、自分にウソをつきながら、生きる苦しみもあり、自分を追い詰め、自殺を考える方もあるということです。

個人の尊重をとことん追求していきたいと思っています。

「核兵器禁止条約」が採択 国連会議

7月7日に国連会議で、核兵器禁止条約が採択されました。第二次世界大戦から72年目の歴史に残るものです。唯一の被爆国として、もっと日本政府がイニシアチブをとるべき課題ですが、残念ながら、ニューヨークの国連会議の場に日本政府がいなかったことが残念でなりません。

条約の批准に向けての取り組みがこれからの日本の平和運動にもなります。

国民平和大行進

「核兵器禁止条約」が採択されて、今年の7月8日の網の目行進は、暑いながらも嬉しい行進となりました。上賀茂神社から出発し、京都市役所前までの行進で、私は上賀茂神社から船岡山公園まで歩きました。



右から玉本なるみ市議、浜田よしゆき府議、井坂博文市議

<言葉の説明>

Lはレズビアン（恋愛対象が同性の女性）

Gはゲイ（恋愛対象が同性の男性）

Bはバイセクシャル（女性男性のどちらもが恋愛対象の方）、

Tはトランスジェンダー（心と身体の性が異なっている方）トランスジェンダーの方の状況は同じではなく、グラデーションのように様々です。服装だけを変えることで、対応できる人もあったり、性転換手術を希望する方もあります。

東京都議会議員選挙で 自民党が大惨敗

日本共産党は2議席増やし、19議席と躍進しました。歴史上過去最低の23議席となった自民党に対して、東京都民がまず、審判を下しました。今度は解散総選挙で、国政で自民党政権に審判を下す番です。

安倍政権の支持率も30%台に後退しています。森友学園や加計問題など、安倍首相の国政の私物化への怒り、平和憲法を壊そうとする動きに対して、国民と野党の共闘を広げて頑張ります。

アンテナ

「ふっふ」って何？

普通は「ちやうやろ！」という言葉を使うことがありますが、長男が小学校の時の人権教育で、車椅子の子どもが題材で使われました。そこで、先生が「普通と違う」というニュアンスの表現をしたようで、身体に障害のある妹がいる子どもさんが、家に帰り、
○「おちゃんは普通でないの？」とお母さんに泣きながら、話したとのことでした。大切な妹が普通でないと言われたショック、同じ人間だと思いが、私はその話をお母さんから聞き、先生にさっそく電話し、改善を求めましたが、先生は障害のあることについて、「普通でない」と思っているのではなく、配慮が必要だということを言いたかったのだと思います。しかし、子どもの心を傷つけたことは事実です。
LGBT 性的マイノリティーの勉強会に参加し、さらに「おっう」という言葉について考えました。異性愛者が普通か？それは違います。多くの人と違うとおっうでなくなる風潮が日本は強いと感じます。とりわけ教育分野で注意が必要です。



金子みすずの「みんな違って、みんないい」というフレーズがピッタリきます。人権感覚を研ぎ澄ませたいと思う今日この頃です。

レインボーのバッジやキーホルダー等を付けてLGBTのことを理解し、支援することの意思表示をしています。



